

文教福祉委員会 送付6-45

障害者、障害児に対する日常生活用具認定に関する陳情

受付年月日 令和6年11月22日

陳情者 提出者 1名

陳情書

2024年11月15日

千代田区議会議員

秋谷こうき

様

件名 障害者、障害児に対する日常生活用具認定に関する陳情

陳情者 氏名

名)

〒

住所

電話

理由

●陳情要旨

排泄予測支援機器「DFree」を、千代田区において、日常生活用具として認定いただきたい。令和6年3月の障害保健福祉関係主管課長会議資料「日常生活用具給付等事業の適正な実施について」には、「各市町村においては、平成18年の障害者自立支援法以前に国が定めた基準額や実施方法にとらわれることなく、定期的に当事者の意見を聴取によるニーズ把握や実勢価格の調査等、地域の実情に即した、適切な種目や基準額となるよう定期的な見直しに努められたい。」と記載があります。これに基づき、排泄予測支援機器を日常生活用具として追加認定いただきたく存じます。

●基本情報

- ・5歳（女兒）中度知的障害、自閉症疑い有、療育手帳有
- ・歩行や座位保持は可能、発語はなく、また尿意の訴えもないため、基本オムツ着用

●陳情理由

本人から尿意の訴えがないため、トイレトレーニングはなかなか実施できていない状況でした。おむつを触って排尿有無を確認し、オムツ交換を行っていました。そんな時排泄予測支援機器の「DFree」に出会いました。DFreeは超音波センサーにより膀胱を経時的にモニタリングし、尿のたまり具合を0～10で数値化できる排泄予測支援機器です。排尿のタイミングを予測し「そろそろ通知」（尿が溜まったことをお知らせする通知）をもとに声かけを行うことで、尿が溜まった適切なタイミングで排尿サポートを実施することができ、尿を溜めすぎたりすることなく、トイレでの排尿成功することが可能になりました。結果として、1回もトイレで排尿をしたことない娘が、トイレで排尿ができるようになりました。また、漏れてしまった場合でも、数値を確認しオムツからあふれる前にはオムツ替えを行うこともできるようになりました。このように、尿意を感じることができない障害者にとってDFreeは非常に有用です。DFreeは令和4年4月に特定福祉用具に認定され、介護保険適用となっています。ぜひ障害者にも負担が少なく購入できるようになることを求め陳情いたします。

- (注意) ※ 1 を入力してください
 ※ 2 氏名は自署か記名押印してください
 ※ 3 陳情者が複数の時は、署名簿を添付してください

